



*CICORN* 長崎大学国際連携研究戦略本部

文部科学省委託事業

平成23年度 安全・安心科学技術プロジェクト

「バイオセキュリティの向上に資する公衆衛生措置に関する調査研究」報告  
&

平成24年度

「バイオセキュリティ分野の国際連携協力に関する研究調査」実施計画

研究統括 竹内 勤

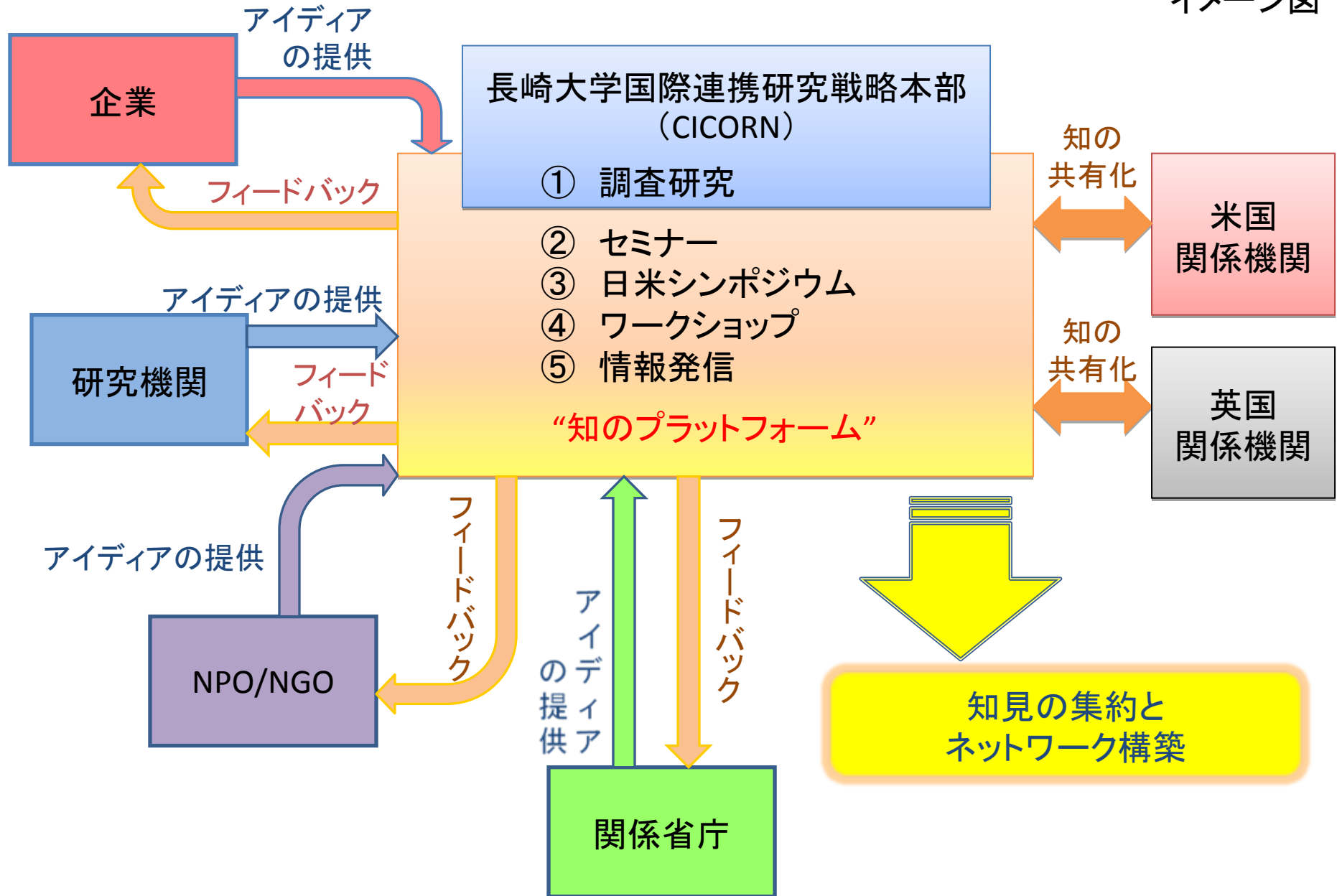
長崎大学 熱帯医学研究所所長 所長・教授

同国際連携研究戦略本部 副本部長

業務担当者 天野 修司

長崎大学 国際連携研究戦略本部 助教

安全・安心科学技術プロジェクト  
イメージ図



# CBRN(生物、化学、核・放射線)災害対策セミナー

## 第1回「放射線被ばくによる健康影響について」

日時:2011年6月18日(土)

場所:三田NNホール&スペース

講演者:松田 尚樹(長崎大学)  
高村 昇(長崎大学)



## 第2回「大規模災害発生後の被災者看護と公衆衛生措置」

日時:2011年8月26日(金)

場所:TKP田町駅前会議室

講演者:山本 あい子(兵庫県立大学)  
上原 鳴夫(東北大学)



## 第5回日米メディカルバイオディフェンスシンポジウム

日時:2011年11月1-3日

場所:ハイアット・リージェンシー・ベセスダ  
(米国ワシントンD.C.)

主催:長崎大学国際連携研究戦略本部  
米国国立衛生研究所



# バイオセキュリティワークショップ

「日本のバイオディフェンスの現状と今後の課題」

日時: 2012年3月17日(土)

場所: 東京コンファレンスセンター・品川

講演者: Robert Spencer (英国健康保護局)

Roger Hewson (英国健康保護局)

西條 政幸 (国立感染症研究所)

谷口 清州 (国立感染症研究所)

安田 二郎 (長崎大学)

泉川 公一 (長崎大学病院)

## 情報発信

## ブログ



## ホームページ



## ニュースレター



## 報告書



## 論文発表等【天野修司】

「米国の医療及び公衆衛生政策の変遷: バイオテロの脅威が与えた影響」(防衛学研究45号、2011年9月)

「バイオセキュリティを巡る国際動向の変化: リスクに応じた管理体制の整備に向けて」(国際安全保障40号、2012年6月)

「バイオディフェンスとオールハザード対応の考え方について: 米国の政策動向の変化を事例に」(JBSA Newsletter、2012年8月予定)

## 平成24年度

# 「バイオセキュリティ分野の国際連携協力に関する研究調査」 実施計画

	主な活動
4月	第2回日米メディカルバイオディフェンスシンポジウム レビュー会合
5月	米国国立衛生研究所(NIH)訪問
7月	第2回バイオセキュリティワークショップ 「バイオディフェンスに資する日米科学技術協力の新たな可能性」
10月	第6回日米メディカルバイオディフェンスシンポジウム
11月	ニュースレター発行
1月	第3回バイオセキュリティワークショップ 「アジア地域における国際連携協力の可能性(仮題)」
2月	バイオセキュリティ分野の国際連携協力に関する提言の作成
3月	年次報告書の作成

# 日米メディカルバイオディフェンスシンポジウム

日米安全・安心科学技術協力イニシアチブ(FIS3)に基づき、バイオテロ等の脅威から国家を防護するための方策を協議する場として、2007年より開催。

2007年

2008年

2009年

2010年

2011年



ワシントン D.C.



ホノルル



東京



ワシントンD.C.



ワシントンD.C.

炭疽菌研究

痘そうウイルス研究

出血熱ウイルス研究

高度安全実験施設の稼働

サーベイランス体制

政策的側面

化学防護

食品安全

【シンポジウムにおいて協議されたテーマ】

放射線災害

# 第2回バイオセキュリティワークショップ 「バイオディフェンスに資する日米科学技術協力の新たな可能性」

日時: 2012年7月21日 土曜日  
10:00~17:00  
場所: 三田NNホール&スペース  
多目的スペース

座長: 安田二郎(長崎大学)

講演者: 天野修司(長崎大学)  
横手公幸(化学及血清療法研究所)  
森川茂(国立感染症研究所)  
大槻公一(京都産業大学)  
永井美之(理化学研究所)

CICORN<sup>®</sup> 長崎大学国際連携研究戦略本部



第2回バイオセキュリティワークショップ  
「バイオディフェンスに資する日米科学技術協力の新たな可能性」  
コーディネーター 天野修司(長崎大学)

【プログラム】  
座長 安田二郎(長崎大学)

講演 1: FISS における活動の成果と今後の課題 天野修司(長崎大学)  
 講演 2: 天然痘ワクチンの研究開発における日米の科学技術協力 横手公幸(化学及血清療法研究所)  
 講演 3: ウイルス性出血熱患者発生に備えた検査診断技術 森川茂(国立感染症研究所)  
 講演 4: 人獣共通感染症の先回り予防策 大槻公一(京都産業大学)  
 講演 5: 我が国の国際共同研究新戦略「感染症研究ネットワーク推進プログラム」 永井美之(理化学研究所)

総合討論

日米安全・安心科学技術協力イニシアチブ (FISS) のもと、2007 年より、両国の科学者及び政策担当者のあいだで、バイオテロ等の脅威から国家を防護するための方策についての協議が行われてきた。本ワークショップでは、FISS における活動の成果と反省点について振り返る。また、国内における研究開発及び国際的な研究ネットワーク創設のための取組について紹介する。総合討論では、各セッションでの議論を踏まえて、日米科学技術協力の新たな可能性について検討する。

【開催日時】  
2012年7月21日 土曜日  
10:00~17:00 (受付開始 9:30~)

【開催場所】  
三田 NN ホール&スペース 多目的スペース  
東京都港区芝 4-1-23 三田 NN ビル 地下1 階  
TEL 03-5443-3233  
▼会場へのアクセス  
<http://www.sitta-nn-hall.com/access/access.html>

【申込方法】  
参加は無料ですが、事前登録制となります。ご氏名(ふりがな)、ご所属先、お預書きを明記のうえ、電子メール(天野由美: [amano-yu@nagasaki-u.ac.jp](mailto:amano-yu@nagasaki-u.ac.jp)) もしくは、Fax (03-3556-9107) にて、7月20日(金) 13:00 までにお申し込みください。(定員に達した場合は、その時点で受付を終了いたします。)



本ワークショップは、平成24年度文部科学省委託事業「バイオセキュリティ分野の国際連携協力に関する研究調査(研究統括:長崎大学動物医学研究所所長 竹内勲)」により実施しています。

ホームページ [http://www.cicorn.nagasaki-u.ac.jp/mext/mext\\_index.html](http://www.cicorn.nagasaki-u.ac.jp/mext/mext_index.html)  
 ブログ『OSRN ニュース』 <http://blog.livedoor.jp/cicorn/>

長崎大学 東京事務所  
平102-0073  
東京都千代田区九段北1-9-17  
奇異文庫ビル2F  
TEL: 03-0268-9115  
FAX: 03-5556-9107

# 第6回日米メディカルバイオディフェンスシンポジウム

開催日：2012年10月11-12日

開催場所：NIAIDロッキーマウンテン研究所

## 日本側参加予定者：

竹内 勤(長崎大学熱帯医学研究所)  
安田 二郎(長崎大学熱帯医学研究所)  
西條 政幸(国立感染症研究所)  
森川 茂(国立感染症研究所)  
横手 公幸(化学及血清療法研究所)  
齋藤 智也(厚生労働省)  
天野 修司(長崎大学国際連携研究戦略本部)  
文部科学省担当者、在米日本大使館担当者他

## 米国側参加予定者：

Ernest Takafuji (米国国立衛生研究所)  
Pteter Jahrling(米国国立衛生研究所)  
Marshall E. Bloom(ロッキーマウンテン研究所)  
Heinz Feldman(ロッキーマウンテン研究所)  
国務省担当者、BARDA担当者他

